

やすらぎ通信

第14号 (平成24年1月1日) 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

睦月(萌月・もゆつき)

雪山賛歌

西堀栄三郎 作詞 アメリカ民謡

- 1 雪よ岩よわれらが宿り おれたちゃ町には住めないからに
おれたちゃ町には住めないからに
- 2 シールはずしてパイプの煙 輝く尾根に春風そよぐ
輝く尾根に春風そよぐ
- 3 けむい小屋でも黄金(こがね)の御殿 早く行こうよ谷間の小屋へ
早く行こうよ谷間の小屋へ
- 4 テントの中でも月見はできる 雨が降ったらぬれればいいさ
雨が降ったらぬれればいいさ
- 5 吹雪の日にはほんとにつらい アイゼンつけるに手がこごえるよ
アイゼンつける手がこごえるよ
- 6 荒れて狂うは吹雪かなだれ おれたちゃそんなものおそれはせぬぞ
おれたちゃそんなものおそれはせぬぞ
- 7 雪の間に間にきらきら光る 明日は登ろよあの頂(いただき)に
明日は登ろよあの頂(いただき)に
- 8 朝日に輝く新雪踏んで 今日も行こうよあの山超えて
今日も行こうよあの山超えて
- 9 山よさよならごきげんよろしゅう また来る時にも笑っておくれ
また来る時にも笑っておくれ

新年あけましておめでとうございます。「やすらぎ通信」は、本年も皆様方と当センターのつなぐ心の架け橋でありたいと願っております。

3. 11 大津波と原子力発電所の大事故により、昨年は毎日毎日が日本人にとってかつて経験したことがない厳しい状況におかれ、その被害や打撃は年が明けましてもなお継続しております。東北の早期復興、原子力発電所事故とその影響の早期収束は、今日すべての日本国民が念じている最大の課題となっております。本年こそ関係者の努力により、被災された方々などが1日も早く普段の生活に戻れる年となりますようお願いばかりです。

さて、昨年も当センターにとりましては実り多い年となりました。

より便利でやすらぎを感じていただけるような空間にと、年頭から1階エントランスの全面的な改修工事に着手し、5月にはフルオープンできました。従来様々な機能の動線が混線しました、同じカウンターで外来・入院・会計の設けていたことなどにより、絶えず込み合い大変不自由をおかけしておりました。このため、改修に当たりましては、「必要な受付窓口がすぐにわかり、また窓口での手続きがスピーディーにできる。」というコンセプトをもとに、各機能の再配置を行いました。

また、従来は全て患者さんがお立ちのまま受付させていただく形になっておりましたが、今回の改修ではローカウンター方式を採用し、椅子に腰をかけ落ち着いた雰囲気の中で受付ができるようにいたしました。この改修により車いすをご利用の方もスムーズに受付していただけるようになりました。

また、よりやすらぎを感じていただけるように、エントランスでBGMとしてヒーリング系の音楽を流すことも始めました。

さらに、この改修を機に、患者さんやご家族へおもてなしの心のこもった接遇に努めさせていただく大切さを、改めて全職員に徹底いたしました。

その結果、時にはまだまだお叱りをいただきますが、来院された患者さんや入院中の患者さんからお褒めや励ましのお言葉をいただく機会も多くなりました。

当センターをはじめ府立5病院では定期的に「患者満足度調査」を実施しておりますが、今年9月に実施した調査では、全体の86%の方が「受付の職員は礼儀正しく親切である」、81%の方が「受付の守衛、警備員は親切である」、全体の71%の方が「外来の看護師の説明はわかりやすく質問しやすかった」、全体の74%の方が「外来の医師の技術や知識を全面的に信頼することができた」とお答えいただいております。そして「全体としてこの病院を信頼している」と答えていただいた方は、外来で84%、入院で90%となっております。

また、エントランスの改修の次に実施したのが、立体駐車場の整備です。当センターへの交通アクセスは市バスを除いて、鉄道の最寄駅まで遠いことから、車で来院される患者さんが大変多いという特性をもっております、特に、手術が少なく外来がフル稼働する週初めの月曜日には患者さんが特に集中し、時として入庫待ちの車の渋滞が阿倍野筋まで延びるといった事態が起こっております。

こうした状態を解消し、入庫待ちの車をなくしスムーズに駐車が可能となりますよう、既存の職員駐車場用地に新たに2階3層式の立体駐車場の整備を行うこととし、7月から工事を行い、10月半ばに完成しました。来院者用駐車場は196区画から58区画増え、254区画となり、10月16日から運用を開始しました。

この結果、従来時々発生しておりました駐車待ちの自動車の渋滞は完全に解消し、スムーズに駐車場へ入庫していただけるようになりました。

一方、医療体制につきましては、新たに耳鼻咽喉・頭頸部外科で甲状腺疾患の外科治療を8月から開始しました。

従来大阪南部地域には甲状腺疾患の専門診療科が少なく、多くの甲状腺疾患の患者さんは他府県などの甲状腺治療専門病院等に行かざるをえない状況でした。しかし、これまで九州の甲状腺疾患専門病院で治療を重ねてきた専門医が当センターに着任したことにより、その専門医を中心に内科系も含めたトータルの甲状腺疾患の治療が昨年8月からできるようになりました。

また、放射線治療科におきましては、昨年2月から更新した最新鋭のリニアック装置によりがん治療を再開しておりましたが、11月からは、ご期待の高かった前立腺がんのIMRT治療（強度変調放射線治療）を開始し、また合わせて前立腺がんのヨード密封小線源永久挿入療法も開始しました。これらにより、前立腺がんに関しましては現在行われている放射線治療が全て基本的に当センターでできるようになりました。

さらにはがん診断に関しましては、現在整備を進めておりますPET-CTがいよいよ本年3月には整備が終了し稼働を開始します。これにより従来外部に依存していたPET検査が院内で可能となり、がんの診断機能は飛躍的に高まることとなります。また、このPET-CTを用い地域の医療機関からのご依頼に基づく検査も実施することになっており、地域全体のがん診療機能の高度化にも貢献できるものと考えております。

一方、こうした取り組みと合わせまして、当センターは大阪府の基幹的施設として、医療面だけでなく地域の文化やコミュニティの発展にも寄与する地域に開かれた病院としての機能も大切にしていきたいと考えております。

このため、昨年2月と4月には、お隣の住之江区にある相愛大学、森ノ宮医療大学と包括連携協定を締結し、それぞれの特色を活かし、患者さんや地域の方々を対象とした様々な連携事業の実施に力を注いでおります。

連携事業としましては、クラシック曲の「相愛大学連携コンサート」をほぼ2月に1回のペースで開催し、第15回を数えるに至りました。また、市民の方を対象にした相愛大学との連携による糖尿病予防セミナーも昨年11月に第2回目を開催し137人の多くの方に参加いただきました。同じく11月に開催しましたが医療をテーマにしたシンポジウム「生と死を、今考える」の第2回にも168人と多くのご参加がありました。なお、本シンポジウムは相愛大学に加え、新たに森ノ宮医療大学にも参加していただき3者連携事業として実施しました。

このほか、相愛大学との連携事業として、毎月の外来糖尿病教室でのコラボレーションや小児科病棟での学生のボランティア活動など多くの事業を実施しております。

こうした連携事業とは別に、当センター独自の取り組みも進めております。入院患者さんや地域の方に第一級の美術作品を院内で鑑賞していただくよう平成21年12月に「現代美術空間一病院ギャラリー」を整備し、大阪府立現代美術センターのご協力のもと、半年ごとに企画展を開催しております。

展示作品は、昨年前半は、司馬遼太郎『街道をゆく』の挿絵原画作家であった須田剋太氏の作品の中から「信州佐久平のみちほか」を開催し、後半はやすらぎの木版作家浅野竹二氏の「初期情景版画展一新京名所と新大阪風景」を開催しました。いずれの企画展の開催に当たっては大阪府立現代美術センター学芸員による作品解説会も実施しました。

さらに、当センター独自の取り組みとして、昨年より、地域の方や関係者のご協力によりバーチャルな寄席小屋「万代やすらぎ亭」を立ち上げ、プロの芸人さんによる落語や講談の「やすらぎ寄席」をスタートすることができました。

7月には桂梅団治さんと桂福丸さんの出演により「三代目桂春団治一門落語会」を開催、また9月には「平成の爆笑王 桂かい枝落語会」を、また、11月には「若手・女流若手講談師 旭堂小二三による講談会」を開催し、いずれも多くの患者さんや地域の方々のご参加がありました。

こうした取り組みを通じ、私たち府立急性期・総合医療センターは、大阪市南部地域の基幹的医療機関として、常に最高の医療サービスを提供を行うことをモットーに日々進化を遂げる病院ありつづけたいと願っております。

また、一方で地域の府立の基幹的施設として、患者さんのみならず地域の方々との交流を通じ、文化やコミュニティの発展にも貢献できる施設として自己変革を遂げたいとも願っております。

その二つの願いを職員一同胸に刻み、今年も一步一步前進してきたいと思っています。

NEWS

【(新)「地域予約」受付時間を延長しました—地域医療連携室】

この度、紹介予約の利便性の向上を図ることを目的に、「地域予約」受付時間を19時30分まで延長することにいたしました。「地域予約」をお取りいただくことで診察の待ち時間を短縮し、よりスムーズに受診していただくことができます。

「地域予約」は紹介医療機関から予約をお取りいただくシステムです。

先生方におかれましては、患者さんをご紹介下さる際にぜひご利用ください。

〈地域予約受付時間〉

(変更前) 月曜日～金曜日 9:00～16:30

(変更後) 月曜日～金曜日 9:00～19:30

(開始日) 12月1日(木)から

【(継) 高校生参加イベント —2012 ふれあい病院探検隊—開催!!!】

～あなたも医師や看護師に！病院の仕事を体験しよう！～

高校生のみなさん！

一度医師や看護師になり病院の仕事を模擬体験してみませんか！

当センターでは、高校1年生、2年生を対象に、医師や看護師、薬剤師、検査技師等になったつもりで、当センターが提供する30を超えるアトラクション(模擬体験)を体験できるイベントを初めて行います。

日 時 平成24年2月5日(日) 午前10時～午後4時

場 所 当センター講堂及びその周辺

対 象 府内の高校1年生、2年生 (参加無料)

参加には、事前に申し込みが必要です。

申込み 次のFAX(チラシの裏面の用紙を使用)またはホームページで

FAX 06-6606-7070

HP : <http://www.gh.opho.jp>

申込み受付 12月1日(木)～1月13日(金)(先着500名)

(参加には、後日お送りする参加証が必要です。)

お問合せ TEL 06-6692-2222(受付時間 9:00～19:00 平日)

Email tanken@gh.opho.jp

なお、本イベントは相愛大学、森ノ宮医療大学、大阪府立大学のご協力を得て実施します。

【(継) 前立腺がんのIMRT治療—放射線治療科・泌尿器科】

前立腺がんに対するIMRT(強度変調放射線治療)を昨年11月から開始しました。新たに昨年導入したリニアック(Novalis Tx)を用いた画像誘導放射線治療で行います。この治療のメリットは、メスを使わずに高い確率でがんを制御できるだけでなく、通常の放射線治療と比べ晩期の有害反応(直腸出血など)が抑制できることです。この治療法が加わり、前立腺がんに対する放射線治療のほとんどが当センターで可能になりました。

【(継)がんの小線源治療—放射線治療科・泌尿器科・産婦人科】

放射線治療部では小線源治療装置を更新し、子宮頸がんに対する腔内照射を4年ぶりに再開しております。再開と同時に、患者さんに優しい治療として、希望する方には鎮静下での治療を導入しました。痛みを感じることなく小線源治療が可能となっています。

また前立腺がんに対する小線源治療として、昨年11月からヨード密封小線源永久挿入療法を新規に始めております。全身麻酔下で長さ5mm、直径1mm程度の線源を前立腺に50-80個程度埋め込む治療法です。2-3時間の埋め込む手術を行うだけで、入院も数日で済み、非常に短期間で治療が完遂できるメリットがあります(通常の外部照射による放射線治療では7~8週間かかります)。但し、この治療は適応が限られます。詳しくは当センター泌尿器科もしくは放射線治療科でご相談下さい。

【(継) 甲状腺外科外来 —耳鼻咽喉・頭頸部外科—】

耳鼻咽喉・頭頸部外科では、甲状腺外科外来を開設しております。

甲状腺外科の検査・治療の窓口として院内外からの診察依頼を幅広く受け付けています。甲状腺疾患の患者さんを対象に、即日超音波検査(細胞診を含む)と血液検査を行い、速やかに診断を行います。

外科的な治療が必要な場合は手術治療を行います。さらにバセドウ病や悪性甲状腺腫に対して、I-131によるRI治療が必要な場合も、画像診断科、放射線治療科と連携して治療を行います。

内科的な投薬治療を行う場合は、糖尿病代謝内科と協力して診療を行います。慢性期の疾患の場合は、地域のクリニックをご紹介します。

開設日 月・水・金の午後
お問合せ先 耳鼻咽喉・頭頸部外科 主任部長 坂田義治

【(継) 診察予約時間の変更はお電話で！】

当センターでは、11診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を運用しています。

これは、当センターが進めています「患者さんにとって利便性の高い病院づくり」の一環として導入整備したもので、急な用事や体調変化で予約された日時に来院できなくなった場合に、電話で日時の変更ができるサービスをご提供するものです。

予約変更を電話でできるのは、以下の診療科です。是非、積極的にご活用ください。

なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください
ようお願いします。

(電話番号) 06-6692-1201(代表)にダイヤルして

「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)

(対象診療科) 内科・呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科 整形外科

免疫リウマチ科 皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科

神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【(継)入院治療費の概算を予めお知らせしております！】

当センターにおきましては、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っております。

「患者さん用クリニカルパス(治療計画書)」の中に記載してお知らせする場合と、口頭でお知らせする場合と診療科によって異なりますが、もしご説明内容に分かりづら
らい点がありましたら、積極的にその場で担当者におたずねください。

今月の催し

【(新) 大好評！！】

相愛大学連携・外来糖尿病教室～知って得する！糖尿病の付き合いかた～】

日 時 平成24年1月17日(火) 午後2時～3時30分

場 所 1階アトリウム

内 容 (1) 飲んでいる糖尿病薬を復習しよう！

糖尿病代謝内科 畑崎 聖弘

(2) 糖尿病のくすり～インスリン分泌促進薬

薬局薬剤師 天野 二愉香

(3) アルコールについて

栄養管理室管理栄養士 笠井 香織

【(新) 今月の すこやかセミナー】

メスを使わない脳外科手術—カテーテルを用いた脳血管内治療—

日 時 1月27日(金) 午前11時～12時

場 所 3階保健教室

講 師 脳神経外科副部長 藤本 憲太

(参加無料)

【(新) 第16回相愛大学連携新春コンサート】

～超豪華！12人出演！相愛サクソフォンアンサンブルコンサート～

— SAX+SAX+SAX+SAX+……=JOYFUL!! —

日 時 1月27日(金) 午後2時～

場 所 本館3階講堂

出演者 相愛大学サクソフォンアンサンブル(11人)

演奏 1回生 7人 2回生 3人 3回生 1人

お話し 前田 昌宏 (相愛大学音楽学部教授)

【(継) 現代美術空間—病院ギャラリー 第5回企画展 開催】

「やすらぎの木版作家—浅野竹二

ユーモアとペーソスの自由版画展—」

日 時 平成23年12月26日(月)～平成24年6月22日(金)

場 所 本館2階ギャラリー(入場無料)

浅野竹二は、1900年京都生まれ。京都市立絵画専門学校で日本画を学んだ後、油絵を始めますが、再び日本画を描き始め、日本画家として活躍します。1930年頃からは、木版画の制作を始め、写実的な「名所絵版画」を制作する一方で、自由に自分の感性を表現した『創作版画』を制作し、大胆なフォルムと色彩で構成されたユーモア溢れる作品を発表しました。

今回は「ユーモアとペーソスの自由版画展」と題して、これまで展示してきた情景版画とは全く異なる軟らかく暖かい情緒豊かな自由版画をお楽しみいただきます。

なお、本企画展は大阪府立現代美術センターのご協力を得て開催しております。

【予告：第4回やすらぎ寄席—三代目桂春団治—門落語会】

日 時 平成24年2月21日（火）午後2時～
場 所 3階講堂
出 演 桂 福矢
桂 咲之輔
主 催 万代やすらぎ亭
(入場無料)

【(新)予告：第5回やすらぎ寄席—平成の爆笑王 桂 かい枝落語会】

日 時 平成24年3月12日（月）午後2時～
場 所 3階講堂
出 演 桂 かい枝
主 催 万代やすらぎ亭
(入場無料)

Topics

【(再) PET-CT の整備工事を行っています！】

PET-CT につきましては、現在整備工事を行っており、本年3月に完成する予定です。この整備により、当センターのがん診断機能が一層強化され、また地域の開業医の先生方からの検査依頼にもお応えできるようになるなど、これまで以上に南大阪地域のがん拠点病院としての役割を果たしていけるようになります。

【(継) 新名所：やすらぎのプロムナード—北側通路周辺—】

当センターでは、「やすらぎの医療空間」づくりの一つとして、本館と中央館の連絡通路から北側に伸びた通路周辺の緑地の再整備を行い、患者さんやお見舞いの方などに“憩いの空間”を楽しんでいただいております。

ベンチや丸テーブルでタリーズのコーヒーやえびすカレーのテイクアウトを持ち込んでランチを楽しんでおられる方も多くみられます。

冬が本番を迎え、寒さが増しており、春・秋のようにはいきませんが、お天気のよい日には戸外で新鮮な空気を吸われてみてはいかがでしょうか。

今月のコンシェルジュ

【(新) コンシェはどんな人？－佐伯瞳コンシェルジュの巻一】

佐伯コンシェルジュ「こんにちは。コンシェルジュの佐伯瞳と申します。私がコンシェルジュとして勤務して早1年が過ぎました。心優しい同僚や尊敬できる病院のスタッフに囲まれて毎日働いております。最近では顔を覚えていただき私に話しかけてくださる患者さんもおられ、大変元気をいただいております。コンシェルジュとはフランス語で施設のなかの案内をする人という意味を持つ言葉だそうです。皆様の求めていらっしゃることをしっかりと理解し、きちんとご案内できますよう日々頑張りますので、どうぞよろしく申し上げます！そして、少しでも病院という場が患者さんやご家族にとってやすらぎを感じられる空間になればと思っております。」

その他のお知らせ

【(継) やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページからアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページのご検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

【(継) 医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関はJ-Debitに加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。(ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。)

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。